

令和3年度〔筆答試験 専門試験（共通）〕

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)

教科教育実践学 専 攻

言語系教育 連合講座

(注意事項)

- 1 解答は、所定の解答用紙に解答すること。
- 2 解答用紙の裏面には一切記述しないこと。
- 3 外国人の受験者は、英語による解答ができる。

試 験 問 題

問題 I 新学習指導要領では、言語能力の育成が一つの柱となっている。中央教育審議会によるまとめ*では、言語能力を構成する資質・能力の一つとして「知識・技能」が下ののようにまとめられている。

言葉の働きや役割に関する理解、言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け、言葉の使い方に関する理解と使い分け、言語文化に関する理解、既有知識(教科に関する知識、一般常識、社会的規範等)に関する理解が挙げられる。特に、「言葉の働きや役割に関する理解」は、自分が用いる言葉に対するメタ認知に関わることであり、言語能力を向上する上で重要な要素である。

児童生徒の言語能力の向上における「言葉の働きや役割に関する理解」の内容について説明し、具体例を挙げながら、論述せよ。

(*中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会『次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて(報告)』, 2016年, より)

受 験 番 号				
---------	--	--	--	--